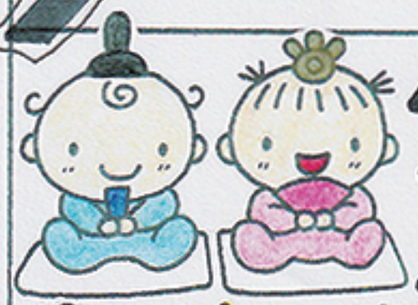
うさぎだより

2024年 3月号 うさぎぶんこ

忘れないよ。ひとりひとりの笑顔の輝き。幸せあふれる時間と共に。



3月

"春のラストおたのしみ会"プログラム

I部
- 月のぼうや
- タンタンのハンカチ
- おおかみと7ひきのこやぎ
- へびのクリクター
- ぽんたのじどうはんばいき
- くだものさん
- 3びきのやぎがらがらどん

II部
- おばけのてんぷら
- きょうはなんてうんがいいんだろう
- そうからふるものなんだっけ
- おおかみのごちそう
- めっきらもっきらどーんどん
- 影絵"かさじぞう"
- ハピハピバースデー

※うさぎ文庫のおはなし会を見て創作してくれた かほちゃんのおはなし※

『月の夢うさぎ』

リサちゃんは小学校2年生の女の子です。
リサちゃんは月が輝く満月の夜がだいすきです。
なぜかって言うとね。
満月の夜、ベッドに入って目を閉じると、
月の世界に行けるからなんだ。

ぴょんぴょんぴょん、月の世界では5匹のうさぎさんたちが
リサちゃんを待っていました。
「やあ、リサちゃん。まだ、お話が始まるまでに時間があるから、お花畑を見に行こうよ。みんなそこにいるよ。」
リサちゃんは、待っていた友達のユミちゃんやハルくんと一緒にお花畑の一本道を通り、
赤いやねのたてものへと向かいました。

お話の時間になると、みんな待ちきれない様子でうさぎさんたちを見つめました。
そして、お話が始まるとリサちゃんはどんどんお話の中に吸い込まれていきます。

そのお話はモニカという女の子がお父さんにお月さまをとってもらうお話でした。
お父さんにお月様をとってもらった時のモニカの喜びや、お月さまが消えてしまった時の悲しい気持ちがこちらにまで伝わってくるようでした。

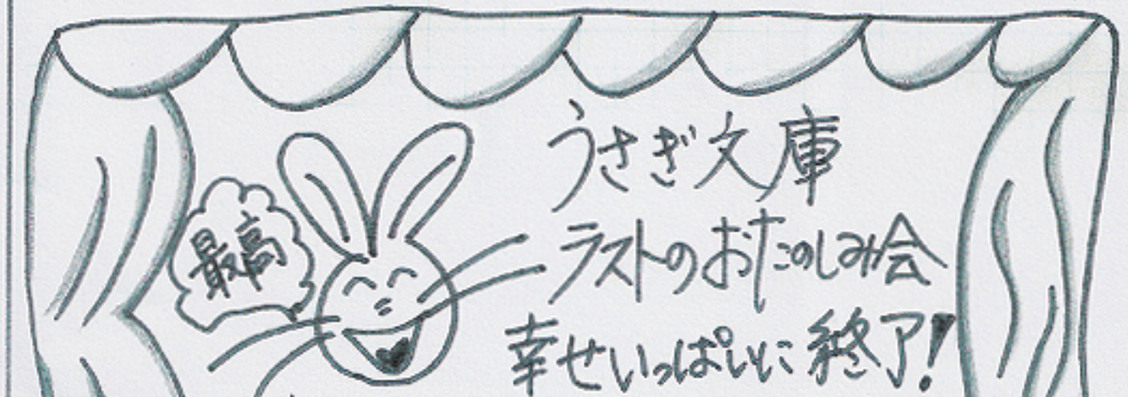
お話はあっという間に終わり、みんなが帰る時間になりました。
リサちゃんもユミちゃんとハルくんと一緒に帰ろうとすると、うさぎさんたちは「ちょっと待って」と言って、青いバラを三人に一本ずつ渡してくれました。
「すごい！青いバラだ！」
「青いバラの花言葉は夢がかなうっていうんだって」

三人はうさぎさんたちに手をふって建物を出るとそこはもうリサちゃんの部屋。
ユミちゃんもハルくんもいません。
みんなそれぞれの家へ帰ったのです。

これは夢のお話ではないよ。だって、目を覚ましたリサちゃんの枕の横には美しいバラの花が一本置かれていたから。

それから10数年が経って、リサちゃんは大人になりました。
お花屋さんをオープンしたばかりです。
ユミちゃんは保育士になるために勉強中。
ハルくんは両親の食べ物屋さんを手伝いながら、一人前の料理人になるために頑張っています。

みんなすっかり大人になって、あの頃の面影はほとんどないけれど、うさぎさんたちの事はちゃんと覚えている。
だって、ほら、あの時の青いバラは今も枯れずに輝いている。



うさぎ文庫 ラストのおたのしみ会 幸せいっぱいに終了！

3/2(土) I部；11:00～ II部；14:00～

たくさんたくさんの皆さまありがとう♥

寒い日になった当日、それでも皆さん声かけあってラストのおはなし会に参加してくださいました。いつもの顔、なつかしい顔、初めての顔、始める前から心が高鳴りました。最後だから、余計に平常心で、いつも通りのおはなし会にしようねとスタッフで心に決めていました。そうしないとこみあげる思いで最後まで走れないと思ったからです。来てくださった皆様本当にありがとうございました。

I部 II部とも全部違うおはなしを選びました。150近くある立体化した作品から14を選ぶのは大変でした。私たちにとってはどれも思い入れのあるものばかり。感謝の気持ちを込めてお届けしました。楽しんでいただけたでしょうか。この26年間たくさんの親子とともに年に2回のおたのしみ会でおはなしの世界を共有してきました。最初は小さなペープサートから。そして紙芝居、パネルシアター、大型布製紙芝居、人形劇、おはなしエプロン、影絵など、皆さんが楽しそうに見てくださるたびに力をいただいて、どんどん作りたくなり、文庫のメンバーとは毎日のように1日中集まってワイワイガヤガヤと新作を製作することに夢中になりました。子育てをしながらの日々でしたが、毎日がとても充実していて、同じ目的をもって活動できる仲間と出会えたことがとても幸せでした。そしてその作品を見て喜んでくださる皆さんの笑顔に支えられて続けてこられたこと。そのひとつひとつの思い出がキラキラと輝く宝物になっています。

それでも私たちも年齢を重ね、それぞれに家族のこと、健康、体力、持久力などを考えると、まだ元気が残っているうちにと まずはおたのしみ会と出張おはなし会の幕を下ろすことにしました。終えることを惜しんでくださるたくさんの皆様にもとても有り難い言葉をいただきました。

ラストのおたのしみ会終了後の皆さんからの熱い思いのお祝いとメッセージ!! まさか!! とは思っていましたが、やっぱり!! 事前に事振りも見せず準備してくださっていたのですね。感謝感激でした。私たちは本当に幸せものです。手作りのステキなフォトブックにも驚きました。まだ菊川の自宅で行っていたおたのしみ会や、初期の頃の出張おはなし会の様子、文庫の子どもたちの姿、そしてまだ若かった私たちの姿！ どれもこれも思い出深いシーンです。そしてフォトブックの最後のページの「月の夢うさぎ」のおはなし。うさぎ文庫の思いがそのままつまった創作のおはなしです。なんとすばらしい感性なのでしょう!!（左記）ありがとうね。

うさぎ文庫の自宅での活動はこれからも続きます。文庫で過ごす時間は子どもたちにとって、ほんの数年でしょう。でもいつか大人になって、読んでもらったおはなしは忘れていても、楽しい時間を過ごしたという記憶とともにふと思い出してくれたらいいなあと思っています。文庫に勇気をもって訪ねてくれたお母さんがいたからこそ、ということも感じてくれたらいいな。"おはなしと人に出会える架け橋になりたい"、

まだまだ続きますよ。

4月の開室日……12日・26日（金）

ホームページアドレス usagi-bunko.com

うさぎ文庫の電話番号 924-7234（菊川自宅FAX共）